

もみじ太鼓

平成27年度

京都市立高雄中学校 学校だより

11月19日



7月に実施した学校評価のアンケート集計結果をお知らせします。紙面の都合上、保護者アンケートの結果のみ、裏面に掲載しています。これらの結果を受けて教職員で検討し、高雄中学校教育の向上をめざして取組みを進めているところです。お気づきの点があれば、お知らせください。

保護者アンケートより

- ・「学校からの情報」「学校生活」「学習評価」「学校での生活指導」「家庭との連携」では、多少実現度が低いものがあるものの、おおむね良好と評価されたと考えています。特に「3 子どもたちは楽しく学校へ通っている」「14 学校は子どものよいところを認め、適切に評価している」については、重要度・実現度ともに高く、ある程度高い評価を得ることができたと思われます。
- ・ところが、6～10の教科指導等に関してはニーズ度が高い（不十分である）ことがわかります。中でも、「9 学校で学習してきたことが身についてきている」「10 家庭で自主的に学習するようになってきた」については、昨年度もニーズ度が高かったので第Ⅲ期から週末学習課題を出すことにしたり、定期テスト前の自主学習等でパソコンを利用して各自の要望に応じた学習を進めてきたりしたにもかかわらず、まだ改善が進んでいないと判断することができます。

生徒アンケートより

- ・全体的には、ニーズ度から見るとおおむね良好と評価されたと考えます。特に「学校生活」「学校での生活面の最後4項目」については、実現度も高くニーズ度は低いことから、評価されたことがわかります。昨年度より改善できたと考えられるのが、「各教科の授業は各時間の目標がはっきりわかる」の項目で、昨年度の後期から教員が各時間に黄色のパネルを用いて「本時の目標」を明示していることが、効を奏してきたと考えています。
- ・ただ、「教科学習等」「学習評価」「学校での生活面の前半部分」では、実現度があまり高くはないものが多く、ニーズ度でも高い数値となっているものが見られます。特に「先生は教科学習の質問にわかりやすく答えてくれる」「先輩は後輩を育てている」では、ニーズ度が高くなっており、学校として気になるところです。中でも前者については教員の姿勢が問われています。後者については、フレンドリー活動等で支援を必要とする生徒や後輩のことを大切にしているように見えていましたが、生徒たちの中では後輩を育てていることにはつながっていないと判断する者が多いことがわかりました。

教職員アンケートより

- ・アンケート最初の「教育目標」や「開かれた学校」の項目では、いずれもニーズ度が低く、年々改善が進んできていると考えています。
- ・逆に、「確かな学力」と「豊かな心」の項目ではニーズ度が高いものが目立ち、特に「家庭で自主的に学習している」は最もニーズ度が高くなっています。これについては上記の「保護者アンケートより」でも述べたように、昨年度第Ⅲ期から週末学習課題を出すことにしたり、定期テスト前の自主学習等でパソコンを利用して各自の要望に応じた学習を進めてきたりしたにもかかわらず、まだ改善の必要があります。また、「生徒がすすんであいさつしている」や「生徒が望ましい言葉遣いをしている」も、ニーズ度が高いことがわかります。生徒会活動で「あいさつ運動」を行ったり、各授業の中で発表活動を行ったりしている中で、このような心が育まれてきていると考えていましたが、なかなか生徒たちの間に浸透できていないことがわかり、対策を考えなければならないと思っています。

総合的にみると

- ・3者のアンケートを通じて共通しているのは、「家庭で自主的に学習しているか」のニーズ度が高いことで、昨年度の学校評価結果から取り組み始めた「週末学習課題」を、生徒たちがどれだけ活用しているか、が問われています。さすがに3年生は進路決定に向けて意識が高まってきていることが伺えますが、1・2年生に家庭学習の習慣を身に付けることがいかに大切であるか、を知らせたいと考えています。教職員は、いかに家庭学習を定着させるかについて検討する必要があります。
- ・また学習面で、生徒の「先生は教科学習の質問にわかりやすく答えてくれる」や、保護者の「子どもは授業がわかりやすいと言っている」の項目が、ニーズ度が高いことについて、教職員はこれまでの授業を振り返り、十分に反省してこれから改善していく必要があると考えています。
- ・「正しい言葉遣い」については、保護者・教職員のニーズ度は高く、生徒の認識とのずれがあることがわかりました。学校生活の毎日は、社会生活の縮図であり、日々の習慣を大切にしてほしいものです。
- ・ニーズ度が高いものを中心に考察してきましたが、高雄中学校の少人数のメリットを活かしながら、教育活動に取り組んでいくことが我々教職員に求められていることであります。保護者の皆さま・地域の皆さまのご協力をいただきながら、生徒たちの成長を見守り、励ましていきたいと考えています。これからも、どうぞよろしくお願い致します。

保護者

	質問項目	重要度	実現度	ニーズ度
1	学校の教育方針や教育活動等の情報が、学校だより・学級だより等や学校ホームページ等でわかる。	6.4	5.2	17.9
2	学校の様子や連絡が、子どもたちを通して、家庭に正しく伝わっている。	6.6	4.7	21.8
3	子どもたちは楽しく学校へ通っている。	6.9	5.3	18.6
4	学校は不審者や災害、通学路等に対して、安全対策を行っている。	6.9	5	20.7
5	学校では、美化活動や校内の整理整頓が心がけられている。	6.7	5.2	18.8
6	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	6.6	4.1	25.7
7	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいる。	6.9	4.4	24.8
8	子ども一人一人が大切にされた授業が行われている。	6.8	4.5	23.8
9	子どもには、学校で学習してきたことが身についてきている。	6.8	4.3	25.2
10	子どもは、家庭で自主的に学習をするようになってきた。	6.8	3.9	27.9
11	学校は、生徒の学力を適切に評価している。	7	5.1	20.3
12	学校は、生徒の学習面での努力を適切に評価している。	7	5.1	20.3
13	観点別評価や評定は、学習目標がどのくらい達成できているかを表しているものであることがわかる。	6.8	5.1	19.7
14	学校は子どものよいところを認め、適切に評価している。	7	5.3	18.9
15	学校は子どもの間違った行動を適切に注意している。	6.8	4.9	21.1
16	学校は学校生活のきまりや約束を守るように指導している。	6.7	5	20.1
17	学校は、親身になって子どもの相談に応じている。	6.8	4.8	21.8
18	学校は、親身になって保護者の相談に適切に対応し、相互の信頼関係づくりに向け努力している。	6.6	4.8	21.1
19	子どもは、学級やフレンドリー活動を通して、信頼関係や役割分担の大切さなど社会性が身についてきた。	6.7	5	20.1
20	子どもは、挨拶や正しい言葉遣いが身についてきている。	6.6	4.6	22.4
21	家庭は子育ての役割を果たし、学校に協力している。	6.8	4.8	21.8
22	学校・家庭・地域が協働し、子どもたちの教育にあたっている。	6.5	5.2	18.2

重要度・実現度は、四択の(とても、やや、あまり、ない)を(7・5・3・1)で数値化し、平均値を求めたものが上の表です。

ニーズ度 = 重要度 × (8 - 実現度) の式で算出

下のグラフは、ニーズ度を棒グラフに表したものです。

重要なのに、実現できていないものほどニーズ度が大きくなります（最大値は49）。

実現できている場合は、実現度の数が大きくなるので、ニーズ度が小さくなります。

